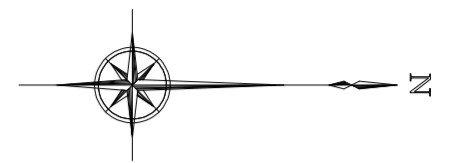


造成計画平面図 給水計画平面図 排水計画平面図

S=1:250 (A2)



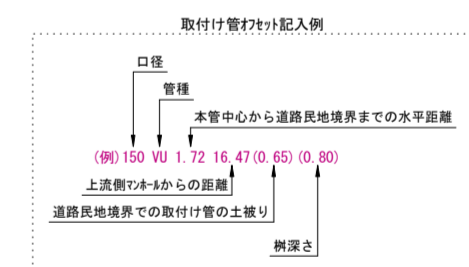
雨水最終樹→1次放流先

樹番号	樹径 (mm)	樹深さ (mm)	管種・管径	管延長 (m)	管勾配 (%)	放流管底	通常水位	樹天高
M4	φ900	900	VU(R) φ250	2.48	8.1	0.09	0.07	1.01
①	φ350	900	WU φ150	1.85	27.0	0.50	0.08	1.30
②	300×400	600	WU φ150	0.92	21.7	0.47	0.06	0.94
③	300×400	600	WU φ150	2.86	14.0	0.45	0.08	0.94
④	φ350	900	WU φ150	3.14	15.9	0.20	0.08	1.00

凡例

	面地番号
	面地面積 (m ²)
	計画高 (m)
	道路集水樹→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	グレーン' T-25
	L型側溝
	1号マンホール(雨水)・マホ-鉄蓋 T-25
	VU(R) φ250(砕石巻)
	1号マンホール(汚水)・マホ-鉄蓋 T-25
	VU(R) φ200(砕石巻)
	雨水樹φ350→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	汚水樹φ200→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	給水管HIVP20・量水器
	水道管仕切弁
	流水方向
	申請区域

注記) マホへの接続には可とう継手を使用すること。
 ・VU(R)とは、UP付硬質塩化ビニル管を意味する。
 ・本管への接続は支管接続とする。
 ・開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
 ・電柱は道路敷地内に設置しないこと。
 ・管の交差部はUP付が10cm以上確保すること。
 ・UP付が確保出来ない箇所は、さや管または全巻保護とすること。
 ・本管上での取付管同士の間隔は、1m以上とすること。
 ・放流先の管底は通常水位以上とすること。
 ・宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。
 ・合併浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流すること。
 ・図面内の高さ標記は全てIP表示(標高)である。
 ・開発区域には、構築物または金属板などで境界明示をすること。
 ・各区分における予定建築物は一戸建ての住宅とする。



盛土
切土

杭記号	杭種
電	電柱
下	下水マンホール
支	支線
仕	仕切弁

所在	高松市木太町字東新開		
図面名	造成・給水・排水計画平面図		
縮尺	1/250	図面番号	2
作成年月日	平成 30 年 7 月 28 日		
作成者	高松市三条町278番地12 株式会社高松合同企画 土地家屋調査士・測量士 野田 明良		